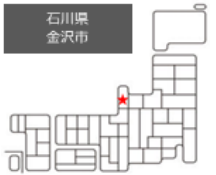


- (株)金沢ちはらファームは、NPO法人アスぺの会石川と発達障害のある子どもを持つ親たちの出資により、2012年4月に設立。
- 人手不足等で耕作放棄地となった中山間地域の農地を借り受け、発達障害者のための就農支援と地域活性化を目的に、ブルーベリー栽培をメインに、農薬や化学肥料を使わない野菜の栽培やブルーベリージャムやフルーツチップ等の加工・製造に取り組んでいる。
- 従業員2名に加え、発達障害のある方1名を雇用し、不定期勤務の発達障害のある方10名を含めて、将来的な自立・就労の実現を目指したサポートに取り組んでいる。



基本情報

- 所在地：石川県金沢市
- 団体名：株式会社金沢ちはらファーム
- 主力商品：
ブルーベリー、ブルーベリージュース、
ブルーベリージャム、フルーツチップ、
ハーブティー
紫根、伝燈寺芋（里芋）
タケノコ



取組の概要

- 耕作放棄地を発達障害者やその家族で少しずつ草を刈り、ブルーベリーのポット栽培や、紫草(ムラサキ)等を栽培。
- 周年作業を確立するため、栽培するブルーベリーの多品種化や自社製品等の6次産業化を図り、儲かる農業につなげる。
- 発達障害者が社会とのつながりを保つため、「農業による社会貢献」を地域貢献と共に進める。
- 地域に賦存する資源等を活かし、発達障害者の就農機会と事業拡大を行う。

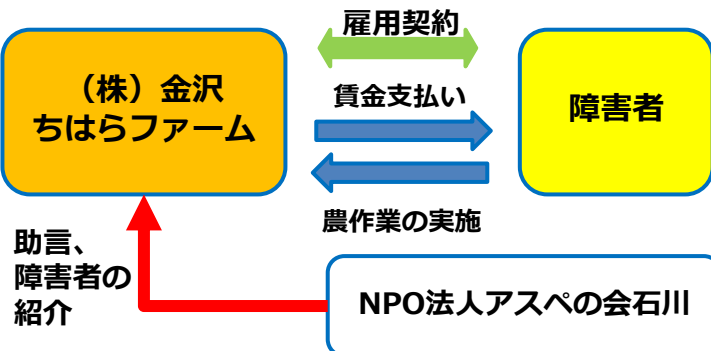


ブルーベリーのポット栽培



ブルーベリーの選別作業

体制図



取組の成果

- 耕作放棄地を借り受け、地域の方々と協力して再生。現在、約90 a のほ場を確保。
- 約20品種のブルーベリーを導入して、7月から9月上旬までの出荷を実現。さらに、ブルーベリーを使ったジャムやジュース、地元果樹のフルーツチップの製造・販売により作業の周年化を実現。
- 個々に合った仕事を見つけ、能力を活かすことによって、「成長の機会」につながっている。

所在地 ▶ 石川県金沢市玉鉾3丁目300

連絡先 ▶ TEL:076-291-9683 E-mail:kanazawa.chihara.farm@gmail.com

ウェブサイト ▶ <http://chihara-farm.com/>

【取組のプロセス】

きっかけ

発達障害者の就労環境の厳しさを知り、彼らが働くことのできる場所を作ろうと考えた。

ブルーベリーや
紫草の栽培開始

2012年

株式会社金沢ちはらファーム 設立

- NPO法人アスぺの会石川と発達障害者の子どもを持つ親たちの出資により設立。
- 耕作されなくなった農地を借り受け、農園を整備。
- ブルーベリーの栽培に加えて、伝燈寺里芋や紫草等を自然栽培。
- 年間を通して仕事を創出するため、加工品の製造にも取り組む。



六次化にも力を
入れ、高付加価
値化を図る。

2015年

六次化プロジェクト 総合化事業計画 認定

- 自社生産のブルーベリーを自社の摘み取り農園で直売する。
- ブルーベリージャム等を製造し、ブルーベリー青果とともにグループ会社へ卸売販売。



観光農園の
リニューアル

2024年

ブルーベリー農園のリニューアル

- 小規模事業者持続化補助金を活用し、観光農園を再整備した。そのことにより、来園者数は大幅に増加し、新たな収益源となっている。
- 地域のお祭りやマルシェに積極的に参加し、フルーツチップやブルーベリーバターどら焼きなど、加工品の販売促進にも取り組んでいる。



今後の
展望

金沢市内の観光施設とのタイアップ等を通じ、「金沢ちはらブルーベリー」の高付加価値化を目指していく。

